



2020年4月15日（水）

第59期（2020年3月期） 決算説明会

（2019年4月1日～2020年3月31日）

代表取締役社長	最高経営責任者（CEO）	保木 潤一
執行役員	経営企画部部长 兼 営業管理部部长	川久保 秀樹

将来予測に関する注意事項

この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従って、これら業績見通しに全面的に依拠することはお控え願います。様々な重要な要素により、実際の業績はこれら業績見通しと異なる可能性があります。

本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。

業績の説明

第59期（2020年3月期）損益計算書



単位：百万円 切捨て	19.3 58期実績		20.3 59期実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,658		37,232		574	101.6%
営業利益	4,382	12.0%	5,307	14.3%	925	121.1%
経常利益	4,503	12.3%	5,791	15.6%	1,287	128.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,043	16.5%	5,529	14.9%	△513	91.5%
E P S	198.31円		183.07円			

HOGY

4

■増収減益

売上高 : プレミアムキットを中心に販売額が伸長
: 新型コロナの影響により一部製品が特需発生

原価率 : 償却費の減少及び生産性の影響により改善
販売管理費 : 見本費、研究開発費の減少

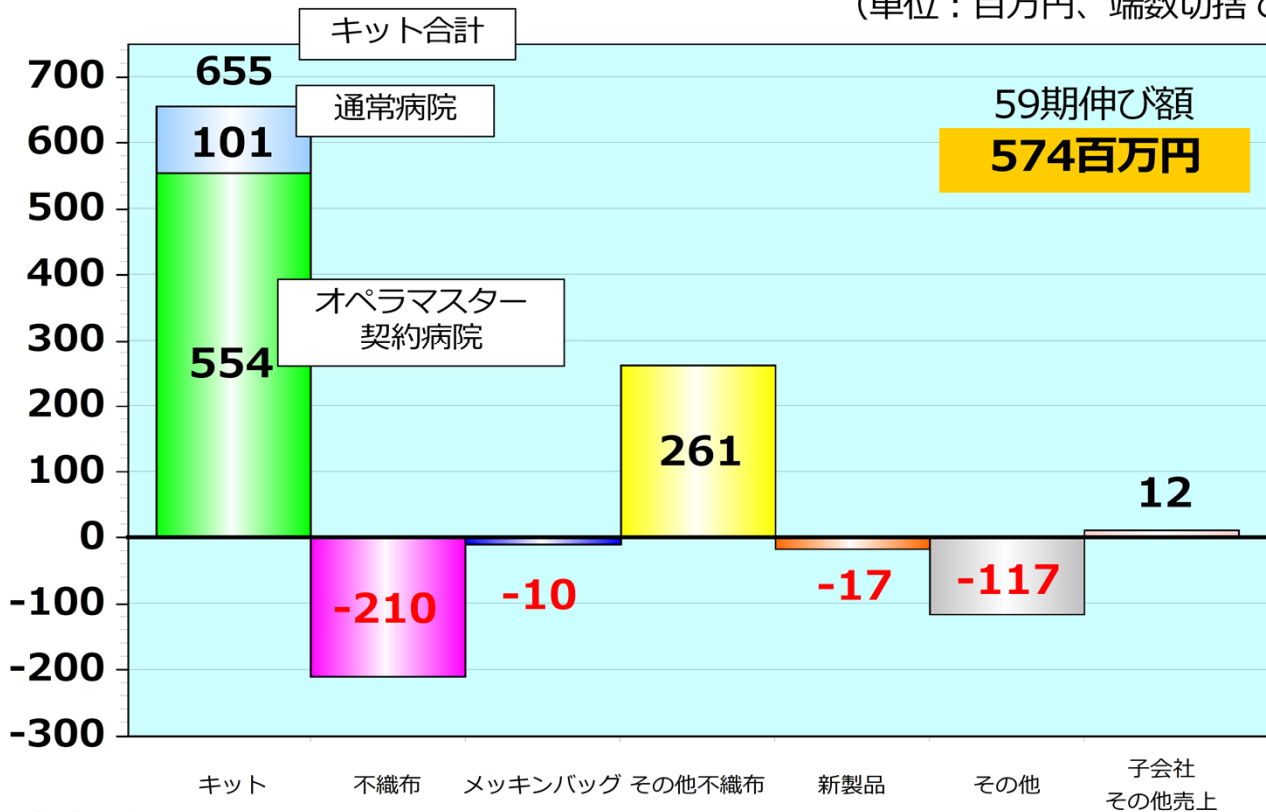
特別利益 : 保有していた一部有価証券の売却益を計上
(2019年3月期:3,998百万円⇒2020年3月期:1,942百万円)

その他 : R-SUDの申請3件、通期で2円の増配

第59期（2020年3月期） 主な製品の売上高伸び額



（単位：百万円、端数切捨て）



HOGY

5

・医療機関への「働き方改革・医療安全」提案の強化

- ✓ オペラ病院を中心に伸長していたキット製品が、キット製品全体での増加に傾向が変化
- ✓ 2000病院に対してプレミアムキットを活用した「働き方改革」の提案を実施
- ✓ 整形の術式を中心とした安全性向上の提案

・新型コロナの影響により一部製品で特需が発生

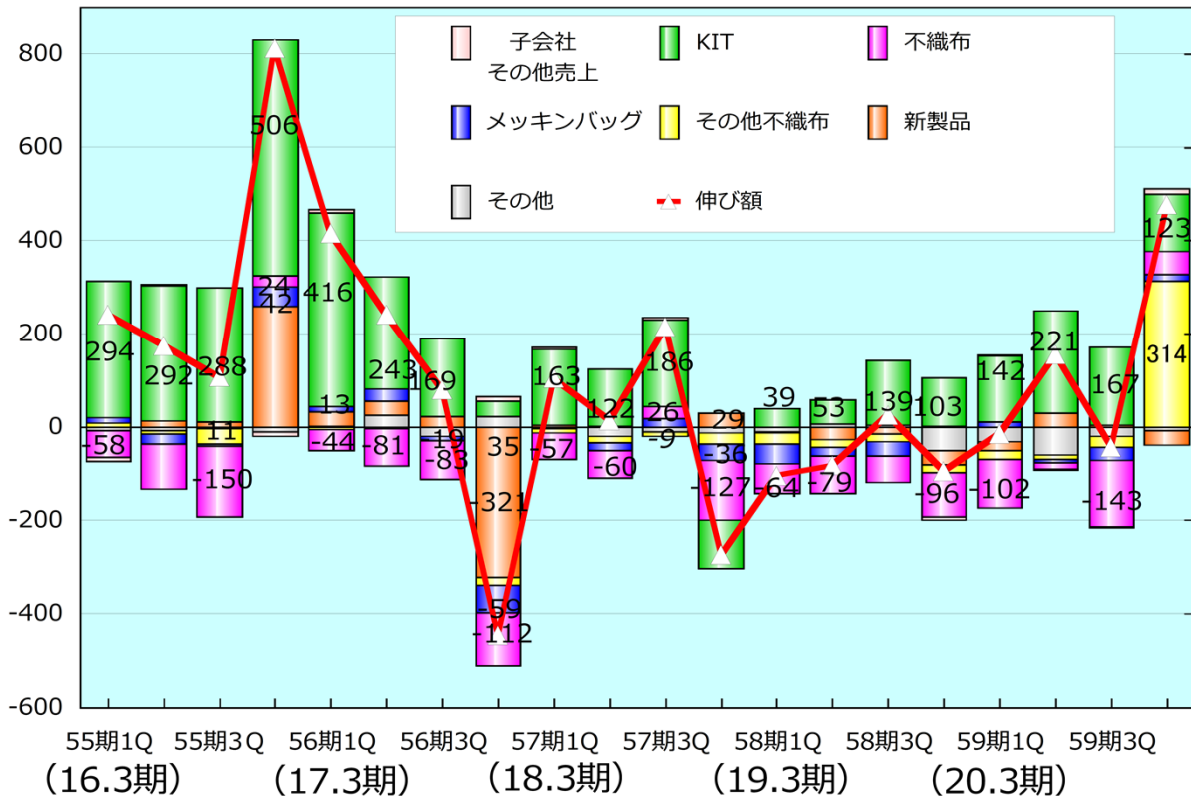
- ✓ その他不織布：マスクを中心に約3億円
- ✓ 不織布：ガウンを中心に約1億円
- ✓ 3月より営業活動の自粛、医療機関からの要請がある場合は対応

・オペラマスター 新規契約数14施設、解約10施設

第59期（2020年3月期） 四半期別売上高伸び額の内訳



（単位：百万円、端数切捨て）

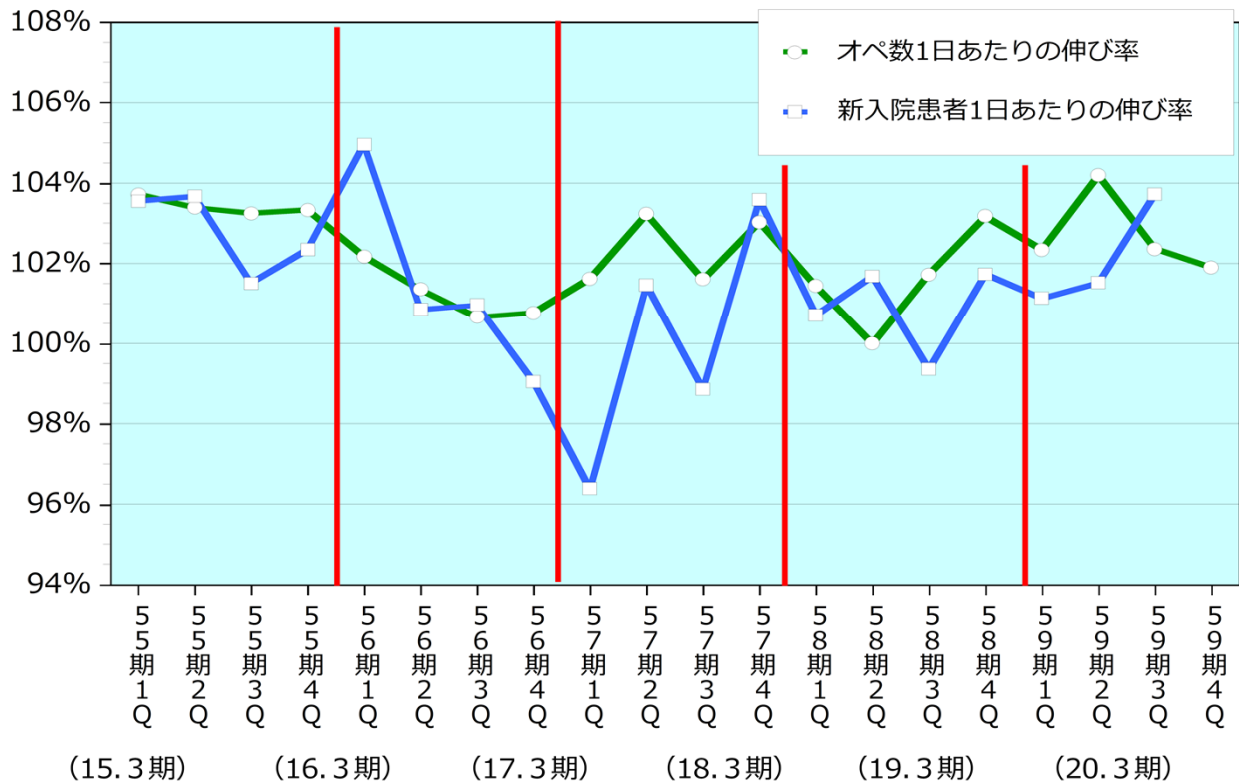


HOGY

※HOGY Medical Asia Pacific Pte. Ltd.の売上実績は、59期に関しては子会社その他売上に含む。 6

- 既製品を中心に消費税による増減が若干発生（2Q⇔3Q）
- 新型コロナの影響により一部製品で特需が発生（4Q）
 - ✓ その他不織布：マスクを中心に約3億円
 - ✓ 不織布：ガウンを中心に約1億円

オペラマスター病院 手術件数の伸び率と 新入院患者の伸び率/日



HOGY

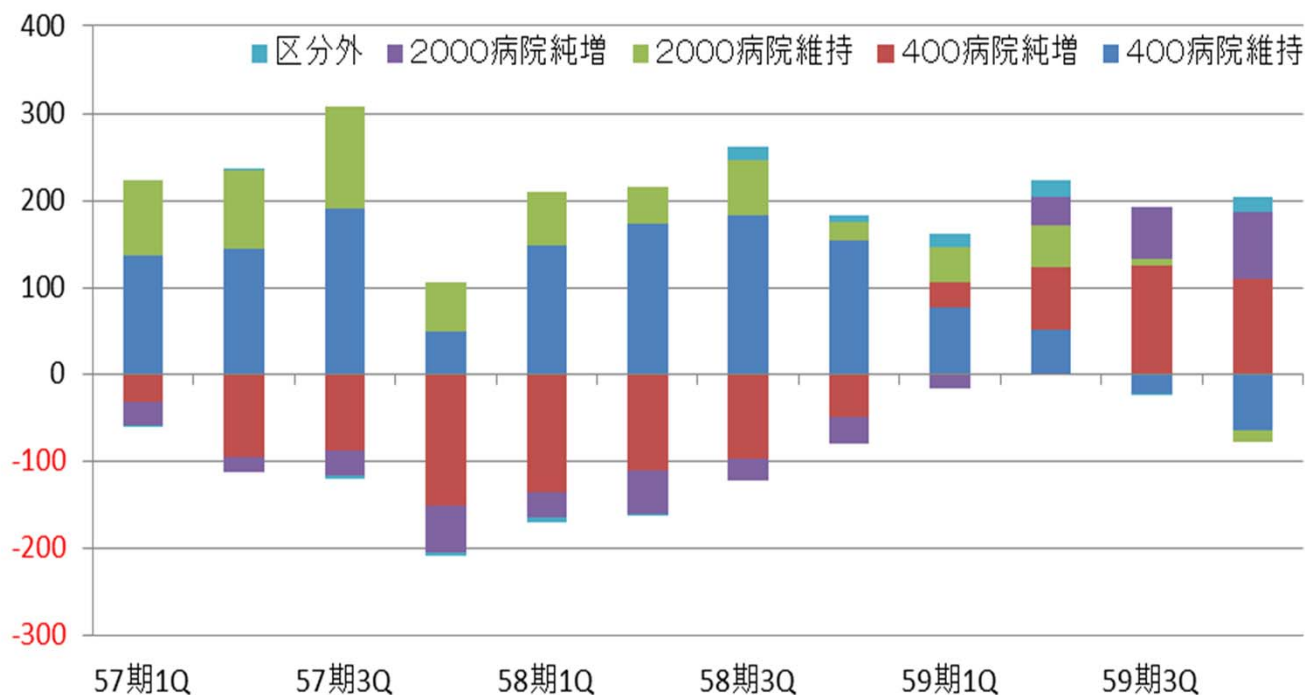
7

- ・ オペラマスター契約病院での1日当たり手術数は2月まで順調に推移していたが、3月より若干鈍化の傾向
- ・ 4月以降の動きは発表時点では3月より減少がみられる
- ・ 命に関わらない手術は先送りへ

戦略区分別 キット製品伸び額推移



(単位：百万円、端数切捨て)



HOGY

8

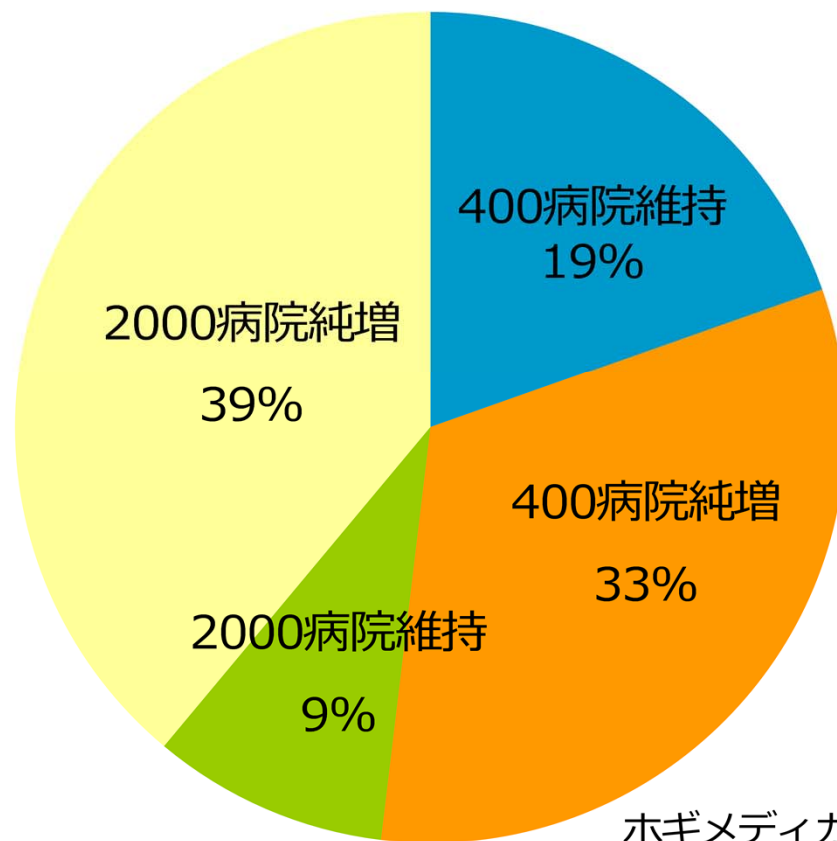
・ 2020年3月期 2Q より 当社キット未使用病院からの売上高上昇が顕著に

・ プレミアムキット採用病院、使用診療科が増加

* 上表の分類は下記の通り

区分名	病院年間手術数	当社キット 使用割合
400病院 維持	4,000例 以上	6割以上
400病院 純増		6割未満
2000病院 維持	4,000例 未満で 手術を行っている	6割以上
2000病院 純増		6割未満

戦略区分別 手術数分布



ホギメディカル社内区分

HOGY

9

・ 2020年3月期 2Q より 当社キット未使用病院からの売上高上昇が顕著に

・ プレミアムキット採用病院、使用診療科が顕在化

* 上表の分類は下記の通り

区分名	病院年間手術数	当社キット使用割合	当社キット現在使用率
400病院維持	4,000例 以上	6割以上	86%
400病院純増		6割未満	17%
2000病院維持	4,000例 未満で手術を行っている	6割以上	86%
2000病院純増		6割未満	8%

第60期（2021年3月期）経営計画

第60期（2021年3月期）損益計算書



単位：百万円 切捨て	20.3 59期実績		21.3 60期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	37,232		38,700		1,467	103.9%
営業利益	5,307	14.3%	6,400	16.5%	1,092	120.6%
経常利益	5,791	15.6%	6,830	17.6%	1,038	117.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,529	14.9%	5,300	13.7%	△229	95.8%
E P S	183.07円		175.37円			

HOGY

11

■ 増収減益

・ 売上高

- ✓ 「働き方改革・医療安全」提案による[プレミアムキット売上高の増加を計画](#)
- ✓ 新型コロナの影響により一部手術の遅延を見込むが、通年では減少した手術が戻ることを想定
- ✓ 海外事業展開の拡大

- ・ 原価率 : 償却費の減少及び生産性の改善による改善
- : II期工事設備投資
- : P.T.HOGY INDONESIAの生産性改善と内製

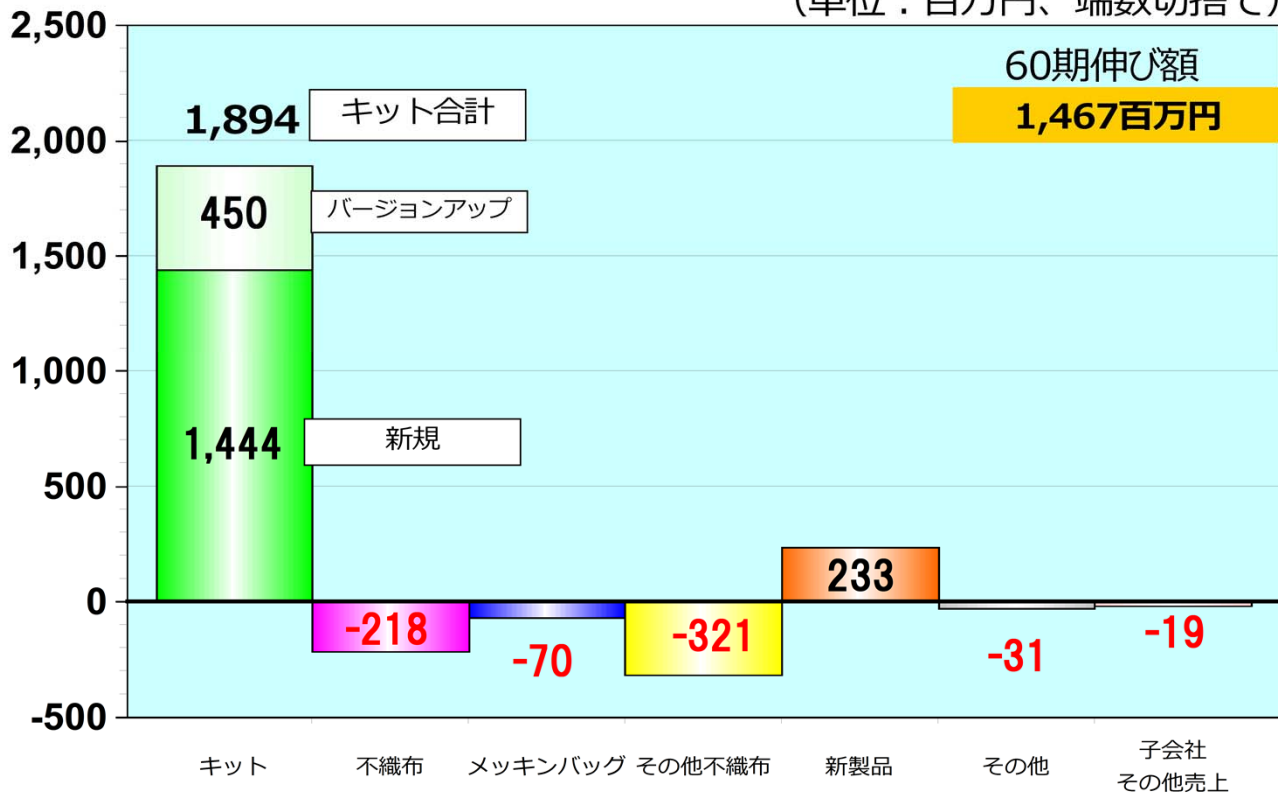
化

- ・ R-SIID事業へ向けての準備と許認可申請製品の増加

第60期（2021年3月期）主な製品の売上高増減額



（単位：百万円、端数切捨て）



HOGY

12

■ 新型コロナの影響により一部手術の遅延を見込むが、通年では減少した手術が戻ることを想定

■ 医療機関での「働き方改革」のソリューションと、

「安全性の向上」ツールとしてプレミアムキットを展開

✓ 他社への攻勢と新規販売強化への注力

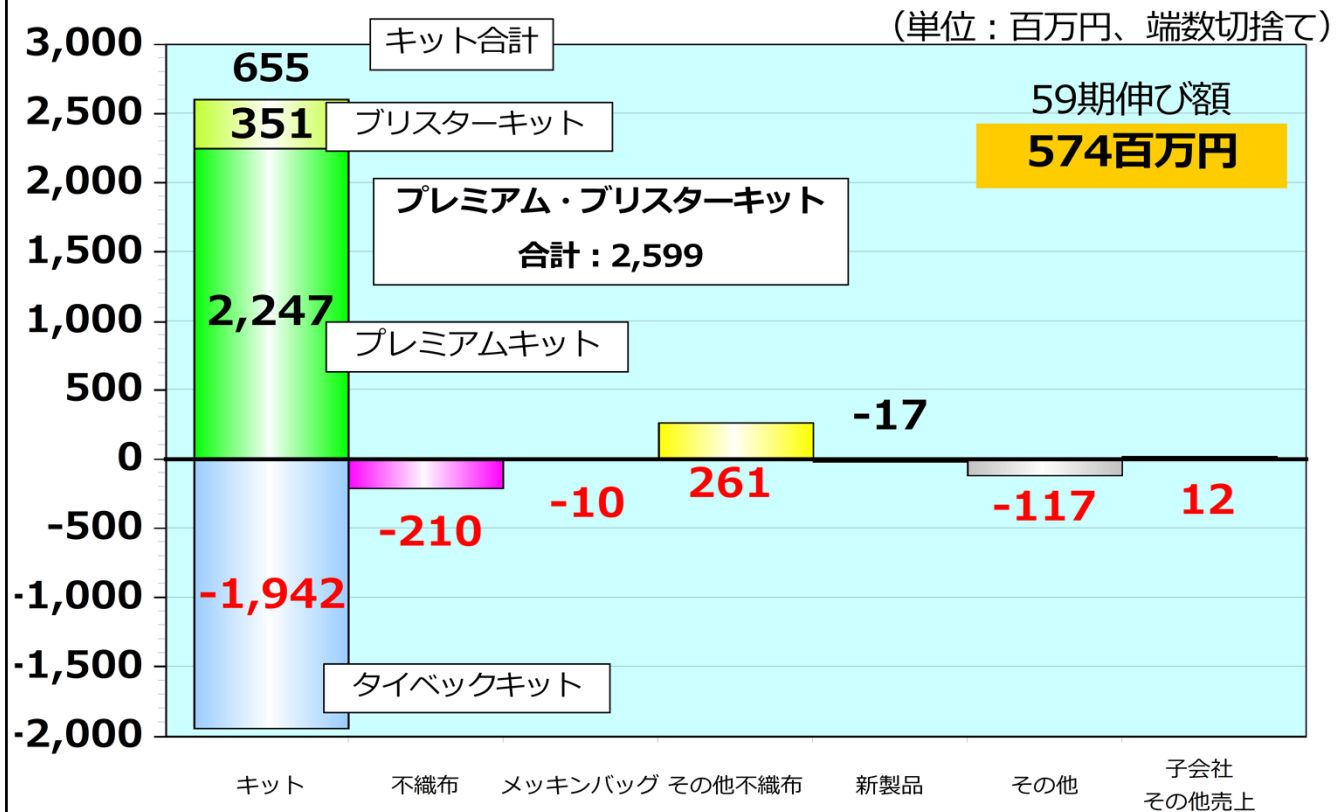
✓ 整形外科等の術式に対して安全性向上のPR

✓ キット内の材料点数増加による効率化、安全性のPR

■ 新型コロナによる特需の反動減

実績の詳細

第59期（2020年3月期） 主な製品の売上高伸び額



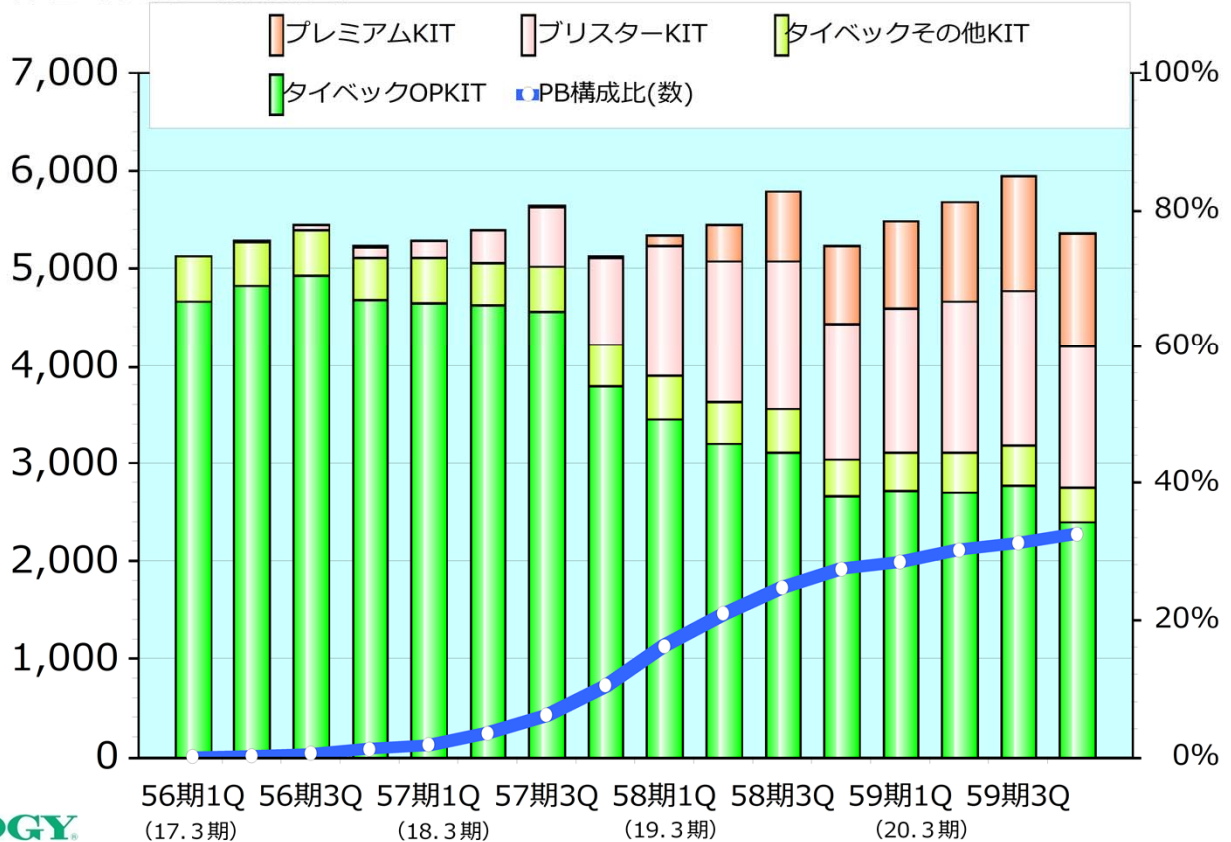
HOGY

14

- ・プレミアムキットへの販売注力の結果、新規採用およびタイベックキットからのバージョンアップが起こる
- ・タイベックキットは他社との競合が続く
- ・新型コロナウイルスの影響により一部製品で特需が発生
 - ✓ その他不織布：マスクを中心に約3億円
 - ✓ 不織布：ガウンを中心に約1億円

キット製品 売上高推移

(単位：百万円、端数切捨て)



HOGY

15

・「働き方改革」と「医療安全」の提案でプレミアムキット売上高が成長

✓ 59期累計売上高（プレミアム、プリスター）

・ 10,308百万円（前年比：+2,604百万円）

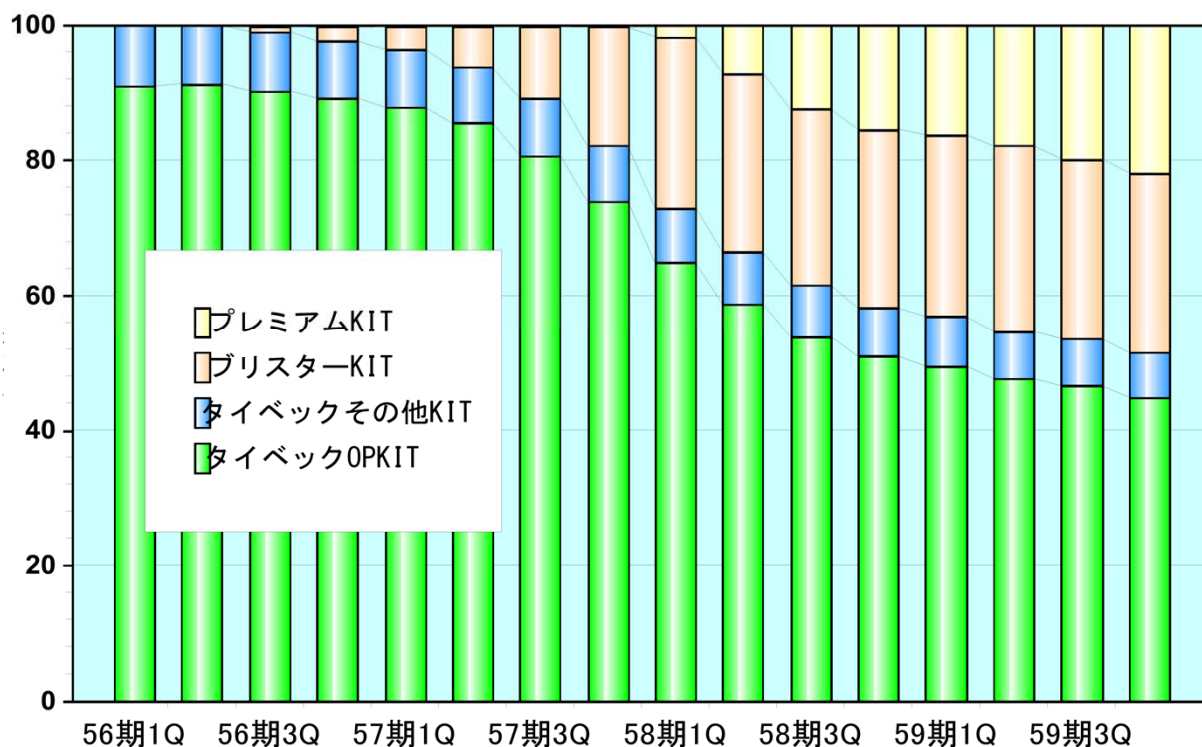
・ キット製品売上高構成比（(プレミアム+プリスター)/キット）
59期:43.1%(1Q)⇒45.3% ⇒46.4%⇒48.5%(4Q)

・ キット製品数量構成比（(プレミアム+プリスター)/キット）
59期:28.4%(1Q)⇒30.2% ⇒31.2%⇒32.4%(4Q)

キット製品 販売構成比 推移



(単位：%)



HOGY

(17.3期)

(18.3期)

(19.3期)

(20.3期)

16

- ・ 当社販売キット製品内での各構成比グラフ
- ・ 伸びの中心はブリスターキットからプレミアムキットへ
- ・ タイベックキットからプレミアムキットへの変更は今後とも一定程度起こる

オペラマスター契約病院の手術数推移

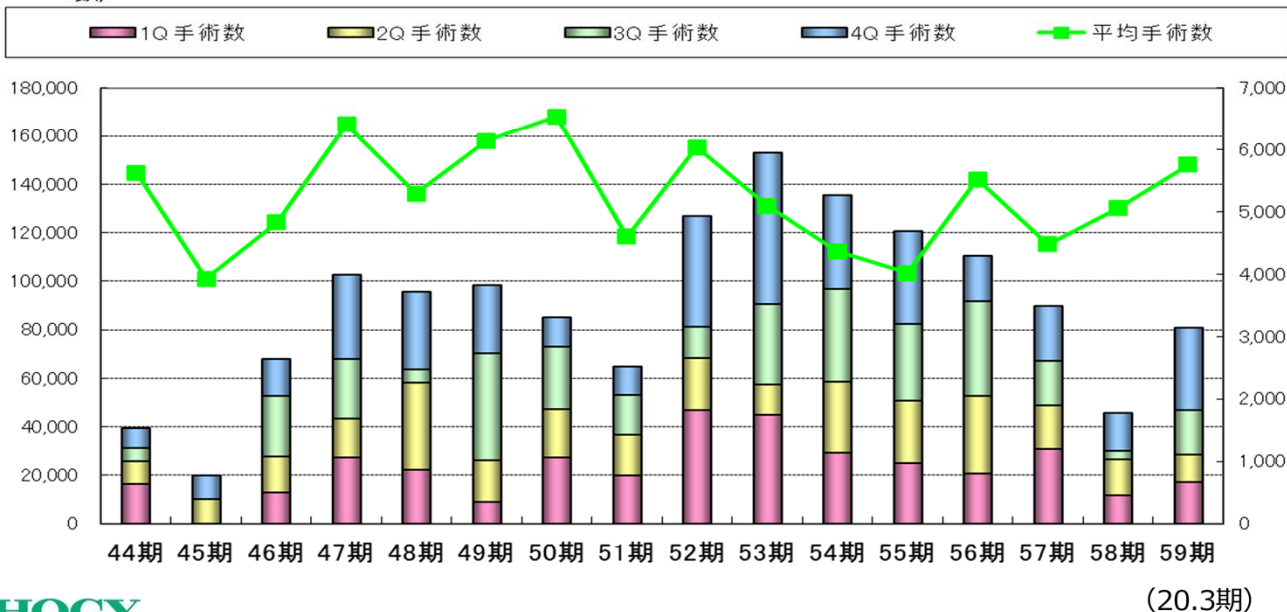
売上高 : 15,186百万円 (+554百万円 : 103.8%)

59期契約施設数 : 新規 : 14施設、解約 : 10施設

累計契約施設数 : 278施設

(単位 : 手術件数)

オペラ契約期別 獲得手術数 & 平均手術数



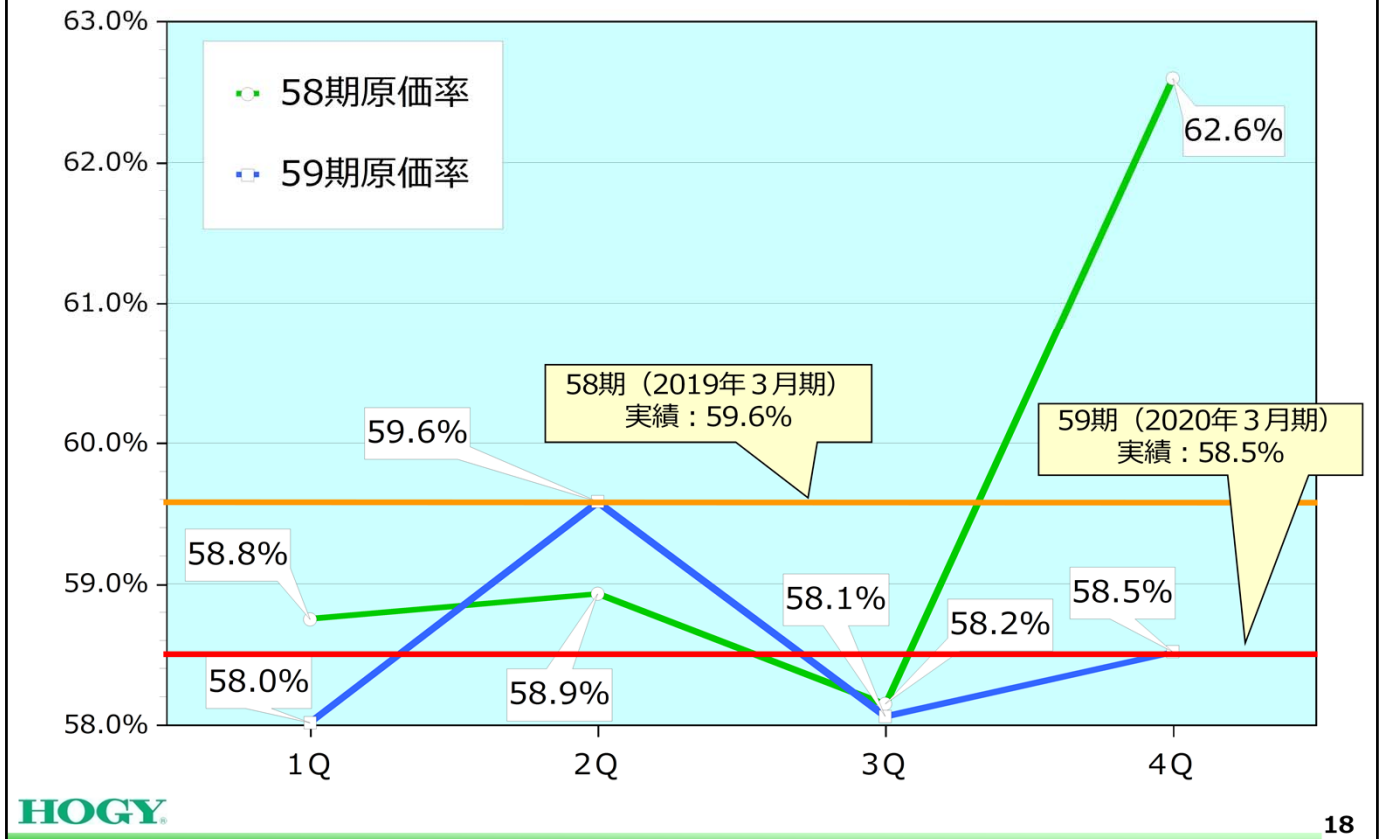
HOGY

(20.3期)

17

- 59期契約病院14件 (I 群3件、 II 群3件)
- 1病院当たり平均手術数は5,700件
- オペラマスター契約は患者が集中する大病院に注力

第59期（2020年3月期）原価率推移



- 新工場償却費の減少

償却合計：5,283百万円（前年比：348百万円減）

- 原価：4,213百万円（前年比：419百万円減）
- 販管費：1,070百万円（前年比：72百万円増）

- 新工場稼働による生産性の改善

第59期（2020年3月期）損益計算書



単位：百万円 切捨て	20.3 59期実績		前年比	
	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	37,232		574	101.6%
売上原価	21,798	58.5%	△32	99.8%
売上総利益	15,434	41.5%	607	104.1%
販売費及び一般管理費	10,126	27.2%	△317	97.0%
営業利益	5,307	14.3%	925	121.1%
営業外損益	483		362	
経常利益	5,791	15.6%	1,287	128.6%
特別損益	1,934		△2,061	
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,529	14.9%	△513	91.5%
E P S	183.07円			

主な増減科目	前年比
見本費	△300
試験研究費	△173
減価償却費	72
人件費	67

新工場建設による牛久市助成金
2020年3月期：274百万円

一部株式売却益
2019年3月期：3,998百万円
2020年3月期：1,942百万円

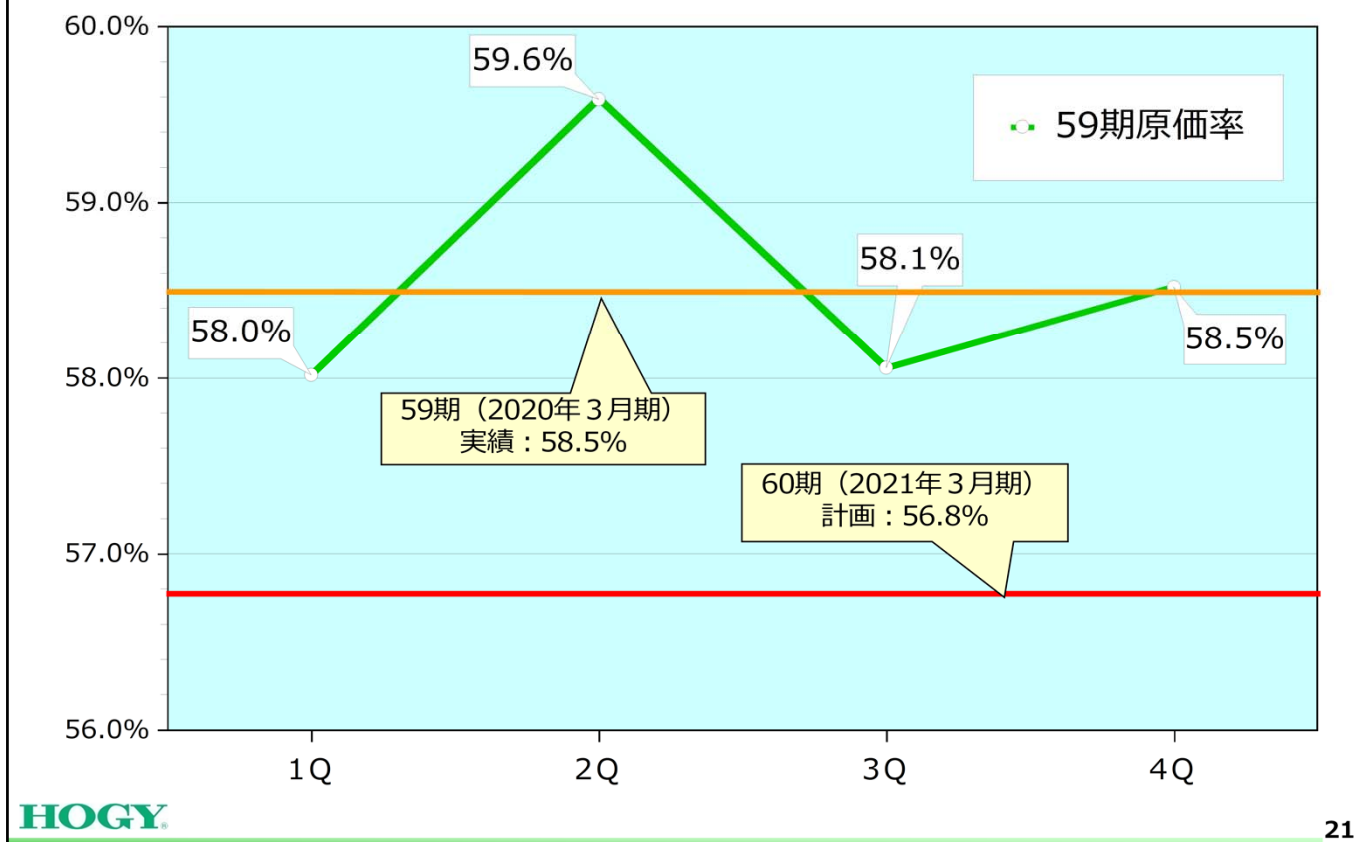
HOGY

19

- ・ 販売管理費：10,126百万円(△317百万円)
 - ✓ 見本費：前年度プレミアムキット販促のため、多くの病院でサンプル使用した増加の反動減
 - ✓ 試験研究費：R-SUD費用の減少
 - ✓ 減価償却費：R-SUD費用の設備取得
- ・ 営業外：新工場建設による牛久市からの助成金
- ・ 特別利益：一部株式の売却による利益計上
- ・ 設備投資：10,904百万円(内新工場追加：9,512百万円)

第60期（2021年3月期）経営計画

第60期（2021年3月期）損益計算書



21

- 新工場償却費の減少

償却合計 : 4,510百万円 (前年比 : 773百万円減)

- 原価 : 3,700百万円 (前年比 : 513百万円減)

- 販管費 : 810百万円 (前年比 : 260百万円減)

- 新工場稼働による生産性の改善

- コーポレートレート115円 (前期同様)

第60期（2021年3月期）損益計算書



単位：百万円 切捨て	21.3 60期計画		前年比	
	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	38,700		1,467	103.9%
売上原価	22,000	56.8%	201	100.9%
売上総利益	16,700	43.2%	1,265	108.2%
販売費及び一般管理費	10,300	26.6%	173	101.7%
営業利益	6,400	16.5%	1,092	120.6%
営業外損益	430		△53	
経常利益	6,830	17.6%	1,038	117.9%
特別損益	600		△1,334	
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,300	13.7%	△229	95.8%
E P S	175.37円			

主な増減科目	前年比
減価償却費	△ 260
人件費	247
地代・家賃	42
見本費	36
広告宣伝費	32

一部株式売却益
2020年3月期: 1,942百万円
2021年3月期: 600百万円

配当額
2021年3月期: 68円(2円増配)

HOGY

- ・ 販売管理費：10,300百万円(173百万円)
 - ✓ 減価償却費：システム償却の減少
 - ✓ 人件費：利益増加に伴う人件費上昇
 - ✓ その他：販売強化のための費用増
- ・ 特別利益：一部株式の売却による利益計上
- ・ 設備投資：5,200百万円(内新工場追加：3,660百万円)

- ・ 緊急性の低い手術の延期が予想されるが、通年では減少した手術が戻ることを想定
- ・ 営業活動の自粛を一定程度継続
- ・ 製品の製造、調達リスク（カントリーリスク・自社取引先工場での患者発生等）等による影響が出る場合は速やかに開示

ご参考資料

手術への影響について



■ 日本外科学会では手術の実施時期を3段階に区分け

段階	定義	手術の例	対応
1	致命的疾患でない、急を要しない外来手術など	<ul style="list-style-type: none"> ・手根管症候群手術 ・健診・ドックの消化管内視鏡 など 	延期
2	致命的疾患でないが潜在的には生命を脅かす、または重症化する危険性あり、入院を要する疾患	<ul style="list-style-type: none"> ・低悪性度のがん ・非緊急性の整形外科手術（股・膝関節置換、麻痺のない脊椎疾患） ・尿管結石（病状安定） ・待機的血管形成術 など 	可能であれば延期
3	数日から数ヶ月以内に手術しないと致命的となり得る、あるいは重大な障害を残す疾患	<ul style="list-style-type: none"> ・外傷 ・ほとんどのがん手術 ・麻痺を伴う脊椎疾患、外傷 ・臓器移植手術 ・心臓手術 ・重症下肢虚血に対する血管手術 など 	本提言に準じた十分な感染予防策を講じ、慎重に実施

* 日本外科学会 新型コロナウイルス陽性および疑い患者に対する外科手術に関する提言より

なお、提言は暫定的なものであり、今後の新型コロナウイルス感染症の蔓延の程度、同疾患の病態解明の進捗、治療薬・予防ワクチンの開発状況によって見直す可能性があります